

平成30年度 大田区立矢口中学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

本校の教育目標

人間尊重の精神を教育の基本におき、人間性豊かで、民主的な社会を担うことのできる人間を、育成するために次の目標を定める。

気づき、考え、行動できる生徒を育てる。
○学ぶ人 ○思いやる人 ○鍛える人 ○はばたく人

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組及び今後の改善策	コメント
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまづきや学習方法について、指導する。	4: 学校生活アンケートで、「集中して学習している」の間にAと回答している生徒の割合が55%以上	3	【取組】 ・学習指導講師による放課後補習教室や、定期考査前の土曜補習を計画的に実施することができた。 ・授業への集中度はB(ややあてはまる)まで高めると、94%の生徒が授業に集中して取り組めた。 ・外国語教育指導員が授業以外で、給食を各学級で生徒と共にとることが定着している。 【改善策】 ・重点目標に関わりなく、継続して小中一貫を踏まえた学習指導を推進していく必要がある。 ・補習教室への参加者をさらに増やす働きかけを積極的に進めていく。	・高学年になるほど良い評価になっているのは良いと思う。 ・土曜補習や放課後の補習などもっと利用する生徒が増えると思う。 ・高学年になるほど良い評価になっているのは良いと思う。
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	3: 45%以上			
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	【結果】46%			
		外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。	2: 35%以上			
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	1: 35%未満			
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4: 学校生活アンケートで、「学校のきまりをきちんと守って生活している」の間にAと回答している生徒の割合が70%以上	3	【取組】 ・小中一貫で挨拶ポスターを作成、地域掲示を依頼する中で、挨拶運動を推進することができた。 ・決まりの遵守は、B(ややあてはまる)を含めると、98%の生徒が決まりを守り、生活することができた。 ・学校生活調査をはじめ、各調査結果を活用し、生徒一人ひとりと向き合い、組織的な対応ができた。 【改善策】 ・不登校生徒や支援の必要な生徒に対して、SCや専門機関との連携をさらに見直し、組織的な対応を推進していく。	・学校行事に熱心に取り組んでいると感じる。 ・全般的に取組指標が高く設定されているので評価に3が多いことは仕方ないと思います。保護者として不満は全くなく先生方に感謝します。
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	3: 60%以上			
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	【結果】65%			
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	2: 50%以上			
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	1: 50%未満			
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	4: 学校生活アンケートで、「自分の体力づくりや健康に気をつけて生活している」の間にAと回答している生徒の割合が55%以上	3	【取組】 ・「早寝・早起き・朝ごはん」のついでには学校だより・保健だより等を通して生徒・保護者に周知できた。食育は授業や給食指導を通して推進できた。 ・体育の授業以外に、部活動や体育的行事を通して全教員が指導にあたる中で、生徒の運動意欲が高まり成果が表れている。 【改善策】 ・「一校一取組」については、年度当初に共通理解を図り、全教員で取り組む機会を引き続き増やしていく。	・休みに外で運動する生徒も多く頼もしい。 ・部活動も盛んに活動していると思う。
		「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	3: 45%以上			
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	【結果】46%			
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	2: 35%以上			
		体力向上を目指し、体育的行事、部活動、連合行事等に、全教員で組織的に取り組む。	1: 35%未満			
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4: 学校生活アンケートで、「先生は、分かりやすく工夫した授業をしている」の間にAと回答している生徒の割合が55%以上	3	【取組】 ・授業公開時の保護者アンケートは、評価結果の閲覧を継続し、授業改善に役立てている。 ・週1回の会議で、SC、養護教諭も参加し、支援が必要な生徒の情報を共有し、組織的に対応している。 ・学力補充や環境美化など、学校支援地域本部の活動が定着し、地域力を生かした特色ある学習活動が充実している。 【改善策】 ・タブレットや電子黒板など、教員のICT機器活用は定着してきている。生徒のICT機器活用に向けて、具体的な活用方法を学ぶ研修会を設定する。	矢口中の教員各位におかれては日頃から十分な情報連携が行われ、良好なチームワークのもとに生徒に接していただけていることがうかがわれます。これは大変素晴らしいことと感謝しております。
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	3: 45%以上			
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	【結果】50%			
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	2: 35%以上			
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	1: 35%未満			
家庭・地域の教育力向上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4: 学校生活アンケートで「地域行事やボランティア活動に参加している」と回答している生徒の割合が70%以上	2	【取組】 ・学校・学年だよりや、学校ホームページの更新を通じて、教育活動の様子を生徒・保護者・地域に広く発信できた。 ・ボランティア活動や地域行事への参加で、自己肯定感や社会貢献の意欲が高まり、ボランティアマインドの醸成を図れた。 【改善策】 ・ボランティア活動への実際の参加率は、アンケート調査結果より高い。ボランティア活動を通じた成就感や自己有用感を生徒に浸透させていく。	矢口中の校区は大規模マンションが多くあり、子供の様子を知る手段として学校ホームページに強く期待していると聞いたことがあります。 ・学校外から見ていると、生徒諸君は町会、自治会活動や保護司会活動などにボランティアとして積極的に参加して下さっていると思っておりますが、アンケート結果は意外に感じられた。 ・生徒の評価「2」はボランティア活動をあたりまえに思い、該当しているからであり意識が高いです。
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けよう努める。	3: 60%以上			
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。	2: 50%以上			
		生徒会のボランティア活動(YVA等)や地域活動など社会参加活動を積極的に推進し、ボランティアマインドの醸成を図る。	【結果】59%			
			1: 50%未満			

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○「学校関係者評価」の評価は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可解である の4点について、評価した人数を記載する。